

すっかり定着した？新聞

# ふじの温泉

発行者 本館患者様

第31号

2013年8月号

## リハビリって何？

今月は高齢者のリハビリをご紹介いたします。といっても幅が広いので参考文献の中から、絞ってお伝えします。

「老いては子に従え」という言葉にもあるように高齢者は自分らしさを表現したり、経験を生かしたりするよりも、迷惑をかけないように自分を押し殺して生きていることが多いようです。そうでしょうか？もしそうなら、リハビリの視点は役割を持ち自己表現の場を提供するの大きな意味を持ちます。例えば、「昔取った杵柄」として編み物や裁縫、書道や将棋などは認知症があってもできるもの。そうした活動は高齢者に自尊心を与え、楽しい時間となります。老いていく体にムチを打って歩いたり立ったりする訓練も時には必要ですが、こうした余暇活動も無くてはならないものということです。次回は高次機能のリハビリに注目します。参考文献「作業療法概論百四十頁」(協同医学出版社)



# 喫茶室ふじの元気にオープン！



オアシスのような場所。病院の中に毎週火・水曜日にリハビリ課主催の喫茶室がオープンしている。医師の指示のもと来室される患者様方…。誰もがひとときの休息を楽しまれている。読書にふけるもよし…

将棋を指すもよし、病棟を越えて他の患者様と談笑するもよし…。思い思いの時間をすごすことができる。よろしければ夏の暑い時期涼しげなふじの喫茶室に行ってみては…。



**編集後記**…関東では取水制限。でも、北陸では記録的な大雨。満遍なく均等に降らない雨は、なんだか世の中の不平等。格差社会を現しているように。せめて院内は平等公正なケアを心がけたい。

2013年8月現在図書室

本の冊数は **4434冊**

来場者は **2156名**です。

皆様の寄贈により図書室は運営されています。感謝します。

図書の寄贈はリハビリ(本2)

大内までお願い致します。

月刊本館リハビリテーション新聞編集:本館作業療法課 協力:行事運営の患者様方  
この新聞は本館各病棟、本館作業療法室、職員食堂、本館3階受付、運営スタッフに合計10枚配布しています。